

ふるさと納税は寄附金集めじゃなくてまちづくり！

1. 現状と課題

現状

- 寄附金を集めることだけを目的にした自治体が続発
- 制度全体が商売化し一部の自治体が寄附を独占する事態に

課題

- このままでは現状はさらに先鋭化していくばかり
- 商売としてのふるさと納税からの脱却が必要

2. 課題解決に取り組む先進地事例

宮崎県新富町	官民連携の地域商社を設立し、寄附金をまちに再投資して地域を育てる仕組みを構築。
宮崎県都農町	寄附金を活用して今後のまちのあるべき姿をデザインする地域組織を運営。
大分県佐伯市	ふるさと納税をきっかけに事業者間の連携を図り、新たなビジネスチャンスを開拓。
福井県坂井市	住民と一緒に寄附金の使い道を企画・立案することでまちづくりを推進。
福井県	ふるさと納税の提案者として健全化を図る他、広域化などの新しいかたちを模索。

3. 今後のふるさと納税

顧客を獲得するふるさと納税から、応援者を獲得するふるさと納税への転換が必要！



応援者を獲得するために、寄附を活用して「応援したい」自治体になることが重要！